

2002年度（平成14年度）第4回常務理事会記録

日時：

2002年（平成14年）9月23日 13：00—15：05

場所：

ホテル八重洲龍名館「百合の間」

出席者：

廣川信隆（理事長）、猪口哲夫、河田光博、高田邦昭、山科正平（以上常務理事）、
依藤宏（幹事）、小森雄一郎（学会事務センター）

欠席者：

なし

I. 会議記録の確認

1. 2002年第3回常務理事会記録（案）
2. 2002年第2回理事会記録（案）
3. 2002年第2回理事会議事録（文部科学省提出用）（案）

以上3件の会議記録（案）が承認された。

II. 報告事項

1. 庶務報告（猪口庶務担当理事）
 - A. 会員異動報告（正会員2,295名 2002年7月31日現在）
 - 2002年7月分
 - i. 入会者：正会員4名、学生1名
 - ii. 退会者：正会員5名、海外1名
 - iii. 住所変更等2件
 - B. 教授就任による学術評議員就任者
 - 相沢 信氏（日本大・医・解剖/旧日本大・医・1解剖助教授 就任日2001年10月1日付）
 - 横山尚彦氏（京府医大・2解剖/旧東京女子医大・解剖発生生物助手 就任日2002年8月1日付）
 - C. 学会に届けられた文書等（一部省略）
 - i. 通知
 - a. 文部科学省より
 - 「公益法人制度の抜本的改革に向けた取り組みについて」（平成14年度3月29日閣議決定）等について

- 「実地検査の結果について」
- 「平成15年度科学研究補助金（科学研究費・研究成果公開促進費）の公募について」

- b. 日本医学会より
「第69回日本医学会定例評議員会議事録」
- c. 科学技術振興事業団より
「委託開発事業開発課題・開発実施企業募集のご案内」
- d. (社) 日本精神神経学会より
「精神分裂病」の診断名変更のお知らせとお願い

ii. 書籍、定期通信他

国立情報学研究所より「NII News No.11」、(財) 日本学術協力財団より「学術の動向2002-8」ほか9件の書籍、定期通信等が寄せられている。

iii. 会告掲載、推薦及び出席依頼等

(財) 千里ライフサイエンス振興財団より

- a. 千里ライフサイエンスシンポジウムS12「再生医学：実現への期待と課題」
- b. 千里ライフサイエンスブレインサイエンスシリーズ第15回「運動神経疾患の治療をめざす基礎と臨床の最先端」会告掲載依頼

※上記については案内をホームページに掲載した。

D. 平成14年度日本医学会分科会「用語委員会」出席報告

清木勘治解剖学用語委員長よりの出席報告が伝えられた。

2. 編集報告（高田編集担当理事）

A. 「Anatomical Science International (ASI)」及び「解剖学雑誌」刊行報告
解剖学雑誌77巻3号は第108回解剖学会総会の案内が綴じ込まれているためASIとは独立に発送した。

B. 解剖学会ホームページについて 解剖学用語委員会答申の「日本語による解剖学用語」については著作権等若干の問題を解決の後、ホームページに掲載予定である。

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

A. 第16回国際解剖学会議準備状況について
準備は着実に進んでいる旨、報告があった。

B. 日米合同シンポジウムについて

海外交流委員会における日米合同シンポジウムは継続すべきとの意見を受け、2003年度の全国学術集会においても同シンポジウムは開催する事が決定された。尚、日本側の企画担当は海外交流委員会の重吉近畿大教授である。また米国側との話し合いで渡航費は派遣国の負担、ホスト国での滞在費、旅費はホスト国の負担とすることが再確認された。

4. 会計報告（山科会計担当理事）

A. 2002年度8月分会計報告

2002年度8月分収支について特に問題はない旨報告があった。

III. 審議事項

1. 第19期日本学術会議会員候補者の選出について
日本学術会議会員推薦管理会より送付された会員選出制度説明書をもとに第19期会員選出日程（案）が審議され了承された。
2. 2003年度科研費審査委員候補者推薦委員会の編成について
日本解剖学会文部科学省科学研究費補助金審査委員候補者選挙に関する内規に基づき、理事長より推薦委員会委員案が提出され、理事会に諮られることになった。
3. 永年会員の推薦について
2003年永年会員推薦候補者一覧が提示・承認され、理事会に諮られることになった。
4. 業務委託契約の更新について
2003年度の（財）日本学会事務センターとの業務委託について、契約書（案）が提示されたが、各常務理事が持ち帰って検討し、何か気が付いたことがあったなら、山科常務理事宛連絡することを申し合わせた。本件に関し、廣川理事長より、「一般的に物価が下がっている時代であることに鑑み、従前通りの金額で契約することを見直せないか」と発言があり、学会事務センターに、管理経費の見直しができないかを検討していただくこととした。契約の更新については、次回常務理事会において決定することになった。
5. 第3回理事会の審議案件、開催方法について
6件の審議案件（案）が提出され承認された。開催方法についてはメーリングリストを利用したe-メールによる方法が提案され承認された。
6. その他
一会員より解剖学会会員を対象とする意識調査研究に学会本部所有の最新データを利用したい旨、申し入れがあった。この件につき慎重に討議した結果、特に最新情報である必然性はなく、かつ未発表の個人情報の公表には慎重であるべきで、既に公開されている会員名簿に基づいて実施して頂くのが適当であるとの結論に達した。